

第2学年1組 体育科学習指導案

令和3年 6月22日(火)

指導者 河本 将克

1 単元名 みんなで楽しく遊ぼう あまりこっ子ランド (体づくり運動遊び)

2 授業づくりの構想

(1) 運動の持つ特性

単元について

- 多様な動きをつくる運動遊びは、体のバランスをとったり、移動をしたりするとともに、用具の操作、力試しをしたりする。
- グループで動きを合わせたり工夫したり、新しい遊びに挑戦したりして、友達との関わりや運動遊びの楽しさ・喜びを共有できることが期待される。
- 友達と協力して、楽しい活動にしていくために、内容を工夫したり、よりよくするために練習したりすることができる。
- 活動中や他のグループの発表を見る中で、自分の頑張りや友達の良さを感じることで期待される。

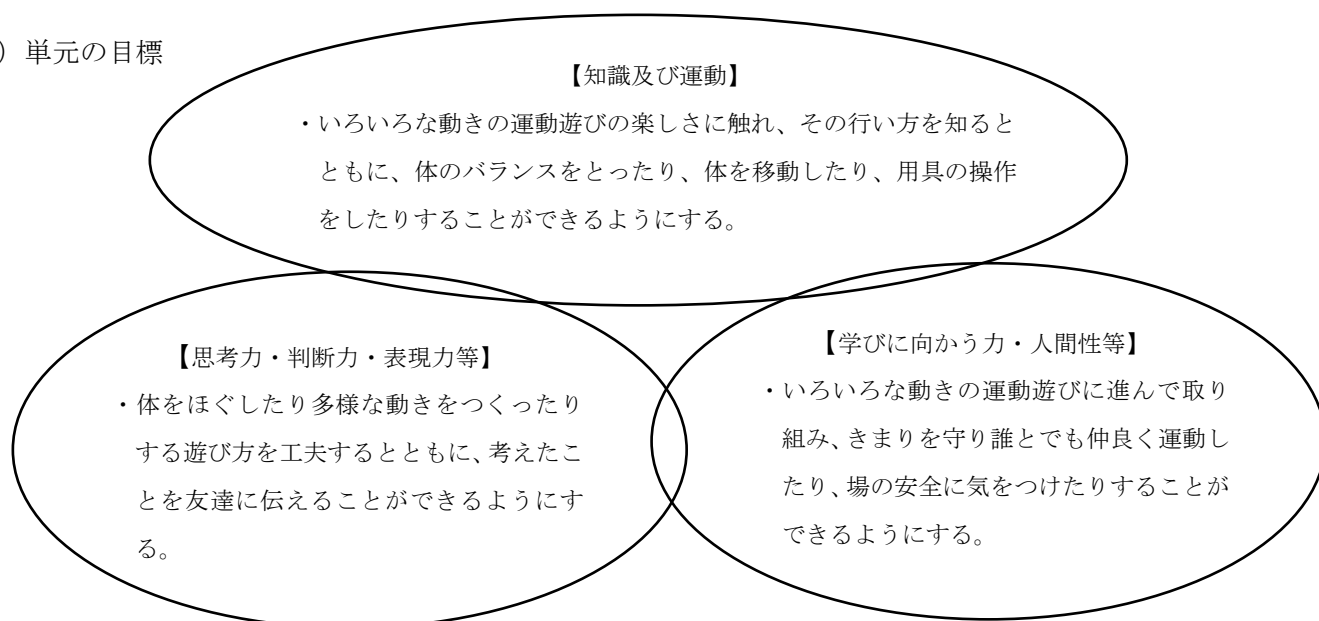
(2) 児童の実態

- 男子12名、女子13名の計25名の学級である。体育学習に意欲的な児童が多く、活発に取り組める。また休み時間にも校庭や体育館で体を動かしている児童が多い。ドッジボールや鬼ごっこをして遊ぶ機会が多いが、それ以外の用具を使った遊びや遊具を使って遊ぶ児童は多くない。
- クラス全体として上記のような体験、経験の少なさから、体育の学習時間において用具を使った細かい動きであったり、自己の体を支えたり、バランスをとったりする活動が苦手である。
- 事前のアンケートの結果から、多くは「体を動かすことが好き」と答える一方で「あまり好きではない」、「好きではない」という児童もいる。その理由としては、「上手にできない」や「失敗するのがいやだ」というような回答が多かった。

(3) 運動(学習内容)の系統性

第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
A 体づくり運動遊び ア 体ほぐしの運動遊び イ 多様な動きをつくる運動遊び (ア) 体のバランスをとる運動遊び (イ) 体を移動する運動遊び (ウ) 用具を操作する運動遊び (エ) 力試しの運動遊び	A 体づくり運動 ア 体ほぐしの運動 イ 多様な動きをつくる運動 (ア) 体のバランスをとる運動 (イ) 体を移動する運動 (ウ) 用具を操作する運動 (エ) 力試しの運動 (オ) 基本的な動きを組み合わせる運動	A 体づくり運動 ア 体ほぐしの運動 イ 体の動きを高める運動 (ア) 体の柔らかさを高めるための運動 (イ) 巧みな動きを高めるための運動 (ウ) 力強い動きを高めるための運動 (エ) 動きを持続する能力を高めるための運動

(4) 単元の目標



(5) 学びへの働きかけ（指導の意図）

- 本単元は1学期と2学期の2度に分けて実施し、今回は(ア)「バランスをとる運動遊び」と、(エ)「力試しの運動遊び」を取り扱う。
- わたしたちの体育を活用して、活動内容やポイントを確認しながら学習を行う。
- 1つの運動遊びの様々な動きを、1時間の中ですべて扱わず、2つ位を取り上げていき授業を進めていく。
- 基本的な動きをすべて行ってから、発展的な活動を行った場合、児童が動きのポイントなどを忘れることが考えられる。よって、【①基本的な動きを楽しむ→②基本的な動きをもとにもっと楽しくなる遊びを考える】の2時間を1つのサイクルとして、そのサイクルを扱う動きを変えながら繰り返していく。
- ②基本的な動きをもとにもっと楽しくする遊びを考える時間でも、①の時間と同じように基本的な動きを楽しむことを意識させる。その中で、もっと楽しくできそうなアイデアが思いついたら、それを取り上げて、みんなで挑戦してみるようにする。
- グループ編成では、運動を得意としている児童と苦手としている児童を混合し、教え合いやかかわり合いによって向上できるようにする。
- ②基本的な動きをもっと楽しくする活動で出てきたアイデアは次の②の活動でも使えるようにホワイトボードに掲示してアイデアを蓄積していけるようにする。
- ICT機器を活用し、良い動きをしている児童や、考えた遊びなどを撮影して共有することで、児童の意欲を高めたり、授業のはじめに、前時の映像を見せることで、動きのポイントの確認を行ったりしていく。
- 振り返りでは、わたしたちの体育に載っている振り返りを活用する。また、「本時の楽しさ」と「休憩時間や学級遊びなどの時間にまたやってみたい」の2項目を、ホワイトボードとネームプレートを使って振り返りをする。

(6)「する・見る・支える・知る」の視点での授業づくり

『する』

- ・いろいろな動きに挑戦しながら遊びを楽しもうとする姿を目指す。

『見る』

- ・お互いの動きや頑張りをグループや学級全体で称賛したり共有したりする機会を作る。

『支える』

- ・友だちの手伝いやアドバイスをしていく姿を目指す。

『知る』

- ・様々な運動遊びがあることを知り、授業後やりたいという意欲を高める。



さまざまな運動遊びを通して、体を動かすことを親しみ、スポーツやさまざまな運動に必要な動きの基礎につながる力を養う。

(7) 単元の流れ及び評価の計画

	1	2	3	4	5	6	7(本時)	8	9
		・ウォーミングアップ							
		バランスをとる運動遊び				力試しの運動遊び			
主なねらい	学習のすすめ方を理解する。	「回る」、「ねころぶ・おきる」の動きに挑戦する	運動遊びをもっと楽しむ。	「すわる・立つ」、「バランスをたもつ」の動きに挑戦する。	運動遊びをもっと楽しむ。	「運ぶ」、「ささえ」の動きに挑戦する。	運動遊びをもっと楽しむ。	「すもる」、「引き合う」の動きに挑戦する。	運動遊びをもっと楽しむ。
核となる学習内容	学習の進め方やきまりについて知る。	わたしたちの体育の中にある基本的な運動遊びを楽しむ。	基本的な動き又は運動遊びを行いながら、もっと楽しくなる遊び方を考える。	わたしたちの体育の中にある基本的な運動遊びを楽しむ。	基本的な動き又は運動遊びを行いながら、もっと楽しくなる遊び方を考える。	わたしたちの体育の中にある基本的な運動遊びを楽しむ。	基本的な動き又は運動遊びを行いながら、もっと楽しくなる遊び方を考える。	わたしたちの体育の中にある基本的な運動遊びを楽しむ。	基本的な動き又は運動遊びを行いながら、もっと楽しくなる遊び方を考える。
学習活動	オリエンテーション	活動① [遊びタイム] 基本的な動きで遊ぶ 活動② [振り返り]	活動① 基本的な動きを使ってもっと楽しい遊び方を考える。 活動② 出てきたアイデアをみんなでやってみる。 活動③ [振り返り]	活動① [遊びタイム] 基本的な動きで遊ぶ 活動② [振り返り]	活動① 基本的な動きを使ってもっと楽しい遊び方を考える。 活動② 出てきたアイデアをみんなでやってみる。 活動③ [振り返り]	活動① [遊びタイム] 基本的な動きで遊ぶ 活動② [振り返り]	活動① 基本的な動きを使ってもっと楽しい遊び方を考える。 活動② 出てきたアイデアをみんなでやってみる。 活動③ [振り返り]	活動① [遊びタイム] 基本的な動きで遊ぶ 活動② [振り返り]	活動① 基本的な動きを使ってもっと楽しい遊び方を考える。 活動② 出てきたアイデアをみんなでやってみる。 活動③ [振り返り]
評価の計画	知		① ②	②	① ②	②	① ②	②	① ②
	思			① ②		① ②		① ②	
	学	① ②							

具体的な評価規準	知識及び運動	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
	① いろいろな動きの運動遊びの行い方を知っている ② 体のバランスをとったり、体を移動したり、用具を操作したり、力試しをしたりすることができる。	① 体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫している。 ② 考えたことを友達に伝えている。	① いろいろな動きの運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ② きまりを守り誰とでも仲良く運動をしようとしている。 ③ 場の安全に気をつけようとしている。

(8)学習用具 (振り返り)

教科書

	(◎ よくできた ○ できた △ がんばろう)							
学しゅうの あしあと	1	2	3	4	5	6	7	8
いろいろな うごきが できるように しょう。								
とも 友だちの よい うごきや 楽しい あそび方を 見つけて つたえよう。								
きまりを まもって 友だちと なかよく あんぜんに あそぼう。								

ホワイトボード

今日の活どうはたのしかったですか

たのしかった



たのしくなかった

休けいや学きゅうあそびでまたやってみたいですか

やってみたい



そう思わない

3 本時の学習（7／9）

- (1) 目標
- ・人を運んだり、自己の体を支えたりする力試しの運動遊びができるようにする。【知識及び運動】
 - ・前時でした運動遊びを工夫して、楽しくすることができるようにする。【思考・判断・表現】
 - ・きまりを守り、グループの友達と仲良く運動遊びをできるようにする。【学びに向かう力・人間性】
- (2) 準備 ホワイトボード、タブレット、ディスプレイ 掲示物
- (3) 展開

	学習活動	教師の支援(○) 評価(★)
0	1 準備運動	
5	2 学習内容、めあての確認 力試しの運動遊びを、工夫してもっと楽しく遊ぼう	○ICT機器を使い、前時の様子を確認する。
8	3 活動① [遊びタイム] 「はこぶ」の基本的な運動遊びをしながら、もっと楽しくなるやり方を考える。 	活動① ○まずは、基本的な動きを紹介し、その中で、もっと楽しくするような工夫が思いついたら、グループで挑戦してみるように促す。 ○困っているグループには、これまでの活動で出てきたアイデアや他の班のアイデアを教えたり、工夫につながるようなヒントを伝えたりする。 ○友達にアドバイスをしたり、積極的に活動を行ったりしている児童をほめる。
15	4 活動② 考えたアイデアの中から、みんなができそうなものを取り上げて、一緒にやってみる。	活動② ○前時の様子と比較するなどして、工夫していることをみんなで共有し、評価する言葉かけをする。
25	3 活動① [遊びタイム] 「ささえる」の基本的な遊びをしながら、もっと楽しくなるやり方を考える。 	★前時でした運動遊びを工夫して楽しくすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力】(観察・発言)
32	4 活動② 考えたアイデアの中から、みんなができそうなものを取り上げて、一緒にやってみる。 5 ふりかえり わたしたちの体育に振り返りを書き、ホワイトボードに自分のネームプレートをはる。	○「楽しさ」「またやってみたい」の振り返りをホワイトボードを使って行う。

